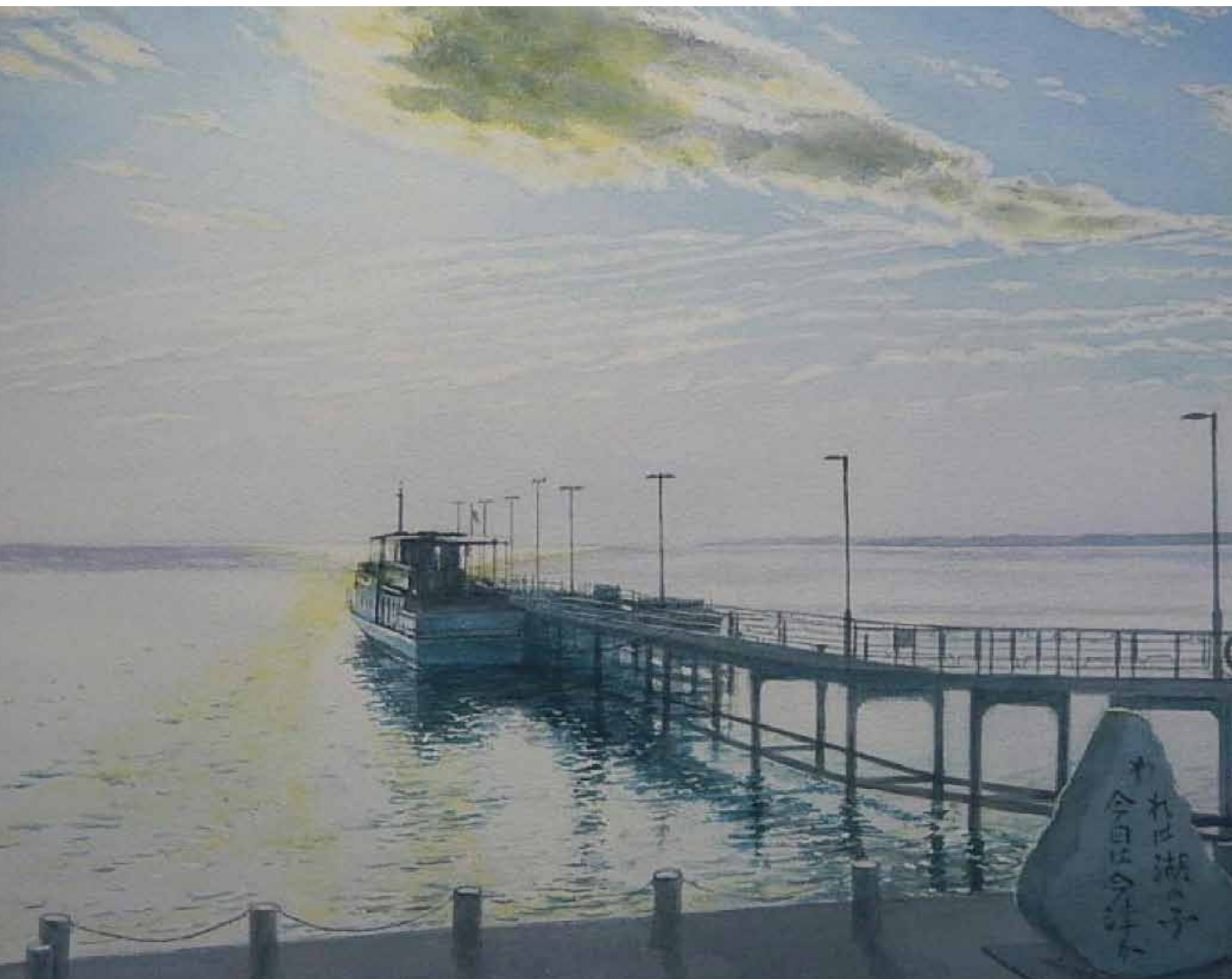


今津住民福祉活動計画(第4次)

あいあいプラン

住民のみなさんが、ふだんの生活をもっと幸せにするために、
身近な問題について話し合い、できることから行動していくための計画です。
誰でも参加できる福祉活動のしくみを計画にまとめています。



「一日の始まり」 今津港にて 2023年作 水彩画 岩本典章(松陽台区在住)

2025年4月
今津ふくしの会(今津地域住民福祉協議会)
社会福祉法人 高島市社会福祉協議会

住民福祉活動計画って？

だれのための何の計画？

住民のみなさんが、ふだんの生活をもっと幸せにするために、身近な問題について話し合い、できることから行動していくための計画です。誰でも参加できる福祉活動のしくみを計画にまとめています。

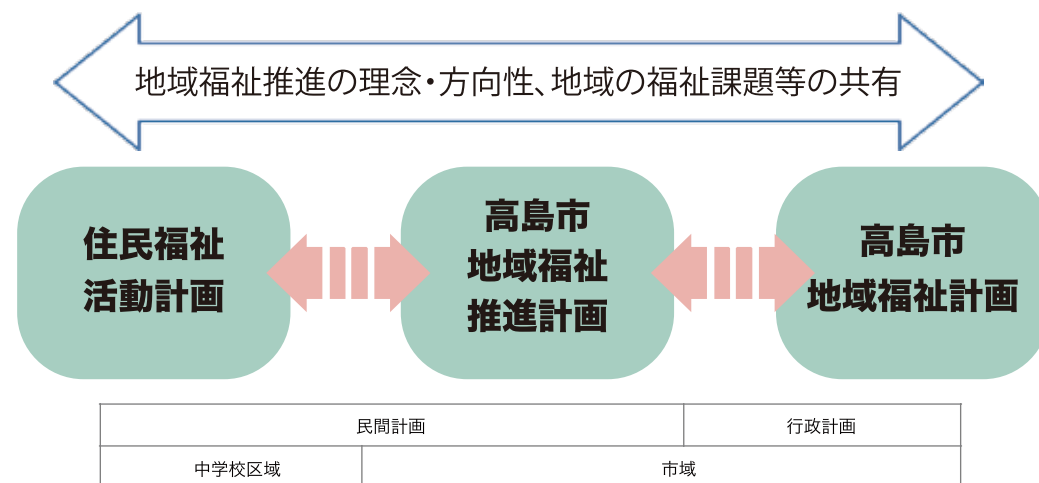
だれが取り組んでいくの？

一人ひとりが取り組んでいる活動もあれば、団体やグループが協力して進めている活動もあります。



行政や他の計画との関係

市内の6つの地域ごとに作られる「住民福祉活動計画」と、社会福祉協議会が市全体で進める「地域福祉推進計画」は、どちらも住民が中心となる民間の計画で、お互いに連携しながら進められています。また、市が作る「地域福祉計画」は、高島市総合計画の方針に基づき、行政の立場から地域福祉を進めています。この3つの計画は、それぞれの役割は違いますが、共通の考え方をもち、同じ方向を目指しています。



住民福祉協議会って？

オープンで出入り自由な住民組織です！

住民福祉協議会は、個人、団体にかかわらず「自分のまちを、誰もが住みやすいまちにしていこう」という志のもと、多様な分野、立場で活動する人たちが集まるネットワーク型の組織です。住民福祉活動計画に基づいた様々な取り組みを行っています。今津地域の住民福祉協議会は、「今津ふくしの会」という愛称で活動中です。

今津ふくしの会のあゆみ

基本理念

地域に関心を持ち
心豊かに安心して
暮らせるまちづくり

今津ふくしの会(今津地域住民福祉協議会)は住民福祉活動計画(あいあいプラン)をもとに、福祉やボランティア活動に興味のある方や団体が集まり、活動を広げてきました。

2025年 第4次住民福祉活動計画策定

2020年 第3次住民福祉活動計画策定

コロナの影響で活動自粛
2022年 セーフティネット連絡会でふくし双六を制作
2024年 より処を現在の南浜に移転。

2015年 第2次住民福祉活動計画策定

// 今津ふくしの会主催で「びわこウォーキング」を開始。
2017年 活動拠点が交流センターから東新町区の民家へ移転。
2018年 学校支援ボランティア(今津東小)「はなまる広場」の運営に加わる。
// 「児童育成支援の会セカンドホーム未来」(子ども食堂)の運営に加わる。
2019年 南浜区の琵琶湖周航の歌資料館(当時)で歌声サロン開催(2020年2月まで)

2010年「今津地域ふくし推進ネットワーク」発足し第1次住民福祉活動計画策定 // 今津市ケ崎あいあいタウン地域交流センター(当時)で交流活動を開始。

2011年 今津地域福祉推進ネットワークを「今津ふくしの会」に名称変更
2012年 今津地区ボランティアセンターカフェ「より処」を開始。

ふくしの会ネットワーク



第1回

3つのテーマについて感想を聞きました！

①自然と文化に触れ、自分たちのまちに関心を持とう！

- ・レイラインや桂浜の彼岸花が新名所になった。
- ・文化や芸術をつないでいきたいなあ。
- ・柿やオリーブ、なれずしなどの取り組みが興味深い！

②多様な人たちがつながれる

- ・縁側のような居場所づくりが必要じゃない？
- ・趣味でつながる機会づくりも大切だなあ。
- ・「おたがいさま」を合言葉に、つながりの輪を大事にしたいなあ。

③生活しやすい環境で誰もが安心を感じるまち

- ・防災・防犯への取り組みや啓発が大切だね！
- ・地域の見守り活動を活発にしていかなければなあ。
- ・専門職とのつながりを増やしていくと良いな。

住民福祉活動計画は5年ごとに作成しています。
2025年の計画では、策定委員の皆さんで
2020年のプランを振り返りました。
「5年後の今津町にどんな町になってほしいか」
という皆さんの願いを聞き取り、
出てきた意見を反映し、
新しいプランづくりを進めました。

①自然と文化に触れ、自分たちのまちに関心を持とう！

に関わるゲストスピーカーから得たものとは…

第2回

その気になれば必ず実現できる！
想いはひとつ。
みんなで連携しようよ！

- ・今津の扇状地は柿の産地として適している。
100年以上の栽培歴史がある
- ・耕作放棄地でオリーブ栽培を始めた。
- ・FFクラブ“For the Future”の略。
- ・諦めずに続ける
- ・地域資源のレイラインやエドヒガンの夫婦桜など
- ・みんなと連携したい。広げたい。



③生活しやすい環境で誰もが安心を感じるまち

に関わるゲストスピーカーから得たものとは…

第4回

1、安心を感じるまちづくりをめざそう

- ・滋賀県は災害が少ないが気は抜けない！！
- ・「いつも」と「もしも」の連携が必要
- ・大切なのは「自助」と「共助」
- ・助けてと言える日頃からの付き合い。
- ・防災福祉活動との連携

2、誰かが集える居場所を作る

- ・琵琶湖が一望できる土地にカフェを開いた
- ・居場所ができる人が集う
- ・人が集うと新たな関係が生まれる
- ・イベントなどでさらに関係を広がっていく

第3回

1、いろいろな人とつながろう

- ・移住者と地元住民の近所のつながり
- ・自然に囲まれながら仕事ができる環境
- ・地域ニーズと観光ニーズを把握し地域を活性化

2、みんな環境は違う。だからこそ人と繋がる

- ・不要とされた布を使ってハンドメイドを行う。
- ・同じコミュニティでのつながりも大切。
- ・人のつながりは財産。
- ・全く違うコミュニティでも誘われたらまずは行ってみる！



地域に関心をもち、心豊かに
安心して暮らせるまちづくり

1 自然や文化にふれ、自分たちのまちに関心をもとう

1. 今津の名所をいっぱい巡ってみよう
2. 今津の自然をいっぱい楽しもう
3. 今津の美味しいものをいっぱい味わおう
4. 今津の良さを発信しよう



2 関心をもち、いろいろな人とつながっていこう

1. 各区・自治会のまちの縁側（居場所）を増やしていこう
2. 趣味でつながるネットワークを作ろう
3. こどもたちとつながる機会を増やしていこう
4. 今津地区ボランティアセンターを使い、ネットワークを広げよう



3 安心を感じるまちづくりを目指そう！

1. 毎日元気に声かけし、みんなで笑顔と信頼を育もう
2. 困ったとき、日常も緊急時も力を合わせ互いに助け合おう
3. 防災勉強会で知恵を磨き、いざという時の準備を万全にしよう
4. 住民と専門家がしっかり連携、確かな支援ネットワークを築こう

今津ふくしの会の取り組み

▼自然や文化にふれ、まちに関心をもとう&こころの豊かさを育もう

○ラベンダープロジェクト (2020年～)

【活動日】(不定期) 【場所】えがお屋本舗(上弘部)

花を植え環境を美しくすることで、地域の人々を笑顔にする活動をしています。



○おっきん椋川ボランティア (2021年～)

【活動日】毎年11月 【場所】椋川

2015年から続けていた「びわこウォーキング」がコロナで開催自粛となったため、それに代わって自然に触れながらイベント開催のサポート活動をしています。

▼まちのあのに関心をもとう&だれもが安心を感じるまちを目指そう

○今津地区ボランティアセンター「より処カフェ」(2012年～)

【活動日】毎月第2第4金曜日開催 【場所】今津地区ボランティアセンター

地域住民が気軽に集まり、情報交換や趣味の活動を通じてコミュニケーションを深めたり、住民の困りごとを聞き取る活動をしています。



○セカンドホーム未来(子ども食堂) (2018年～)

【活動日】毎月第4土曜日 【場所】旧今津北コミセン

子どもたちと地域の人々が共に食事や遊びを通して交流する場として活動を応援しています。



○はなまる広場 (2018年～)

【活動日】月～金(夏休み等はイベント開催) 【場所】今津東小学校

学校で学習支援や遊び支援を行い、教育環境をサポートする活動を協力しています。

▼だれもが安心を感じるまちを目指そう

○セーフティネット連絡会 (2010年～)

【活動日】年2～3回(不定期) 【場所】今津公民館(東コミセン)

地域住民、行政、福祉関係者が連携し、安心して生活ができる体制をつくる活動をしています。毎回災害や医療などのテーマを絞り開催しています。



▼サロン開催区・自治会一覧

南浜区
松陽台区
中浜区
北浜区
東区
西区
栄区
南新保区
カームタウン区
市ヶ崎区

大供区
新保寺区
宮西区
今津中野区
杉沢区
東新町区
下弘部区
上弘部区
大床区
藺生区

北深清水区
南深清水区
西深清水区
平ヶ崎区
北林区
伊井区
三谷区
梅原区
梅原台自治会
保坂区
椋川区



桂区
今津辻区
中ノ町区
北仰区
構区
望みの郷自治会
浜分区
弘川区

今津地区ボランティアセンターって知ってる?

施設についての概要

この施設は、住民の皆さんが利用できる場所です。
現在はあまり知られておらず、利用する人が少ないのが現状です。
もっと多くの方に使ってもらえると嬉しいです。
みんなでアイデアを出し合い、地域の活動がもっと活発になることを目指しています。

【正式名称】 今津地区ボランティアセンター

【住所】 今津町今津448-88 きんでんさんの隣に立ち並ぶ住宅の一つで、看板が目じるしです。

【利用状況】・サロン活動 「より処カフェ」 毎月第2・4 金曜日 13:30-15:00
(2025年2月時点)



よくある質問

Q.いつ使えるの?

A.R7年2月時点ではより処カフェ以外の時間は空いています。

Q.利用料はかかるの?

A.施設利用費はかかりませんが、活動で生じる光熱費等は相談の上で 必要になる場合があります。

Q.例えば何に使えるの?

A.ものづくり、カフェ、料理教室、語学など
趣味を通じた地域交流など
その他ご利用アイデアがあればぜひご相談ください!

「今津地区ボラセン」を利用してみませんか?

人口減少に伴う様々な
社会的不安がある中で
地域の一人ひとりが
主人公として地域活動に
参加してみませんか?

ご利用に関するお問い合わせ

高島市社会福祉協議会 地域福祉課

0740-25-5730

2025

2027

2029

計画の期間

この計画の期間は2025年度から2029年度の5年間です。
また、必要に応じて3年目に見直しを行う予定です。

今津地域のみなさまへ

地域の未来へ向かって、力を合わせて何に取り組んでいったらよいか、仲間として一緒に考え、行動を起こすきっかけとして、この計画を策定しました。地域福祉活動の取り組みのヒントになればと願っています。

今津住民福祉活動計画(第4次)策定メンバー:50音順・敬称略(令和7年3月現在)

青谷 和夫	高島市役所 今津支所	石倉 しのぶ	社福)虹の会 ドリームあんです
石田 容子	一般社団法人 あすラボ	岩本 忠晴	今津地域住民自治協議会
岩本 眞知子	松陽台区福祉推進委員長	大西 さなえ	弘川区福祉推進委員長
桂田 隆司	南深清水FF倶楽部 代表	桂田 敏男	福祉施設職員
鎌田 みどり	NPO法人 子育て子育てサポートきらきらクラブ	北村 京子	高島市役所 高齢者支援課
清原 沙織	社福)虹の会 高島市障がい者相談支援センターコンパス	小山 正弘	松陽台区 区長・今津地域住民自治協議会
是永 宙	結いの里・椋川、仲間のWA!	坂下 靖子	たかしま市民協働交流センター
志連 加代子	今津民生委員児童委員	洲崎 トモ子	SUZAKI CAFÉ
多胡 重孝	児童育成支援の会 「セカンドホーム未来」実行委員会	田中 一美	あいりんつむぎ地域包括支援センター
玉木 欣章	大供区 区長	辻 雅俊	高島市社会福祉協議会 相談支援課
内藤 祐介	社福)ゆたか会 清湖園	中村 敏子	バリアフリー・ペ・ソ・ン「ととファミリー」
仁賀 俊二	社福)大阪自彊館	早川 浩徳	株式会社 ユメミライ
水艸 亜紀	社福)すぎやまの家	三田村 喜作	今津地域住民自治協議会
森井 良麿	特定非営利活動法人びわの音・西近江	森本 智恵	Tomorimo
山口 知之	今津地域住民自治協議会	山村 栄治郎	高島市役所
山本 渉	高島市立今津東小学校 校長	勇上 淳子	もったん in 再生屋
善積 務	社福)ゆたか会 湖西地域働き・暮らし応援センター	和治 佐代子	NPO法人 子育て子育てサポートきらきらクラブ

【事務局:高島市社会福祉協議会 地域福祉課 古谷佐代子】

今津住民福祉活動計画(第4次)～あいあいプラン～

発行日:2025年4月1日 策定:今津ふくしの会

発行:社会福祉法人 高島市社会福祉協議会 (☎0740-25-5730 FAX 0740-28-7199)

制作協力 森本智恵  Tomorimo

「今津ふくしの会」の活動は、赤い羽根共同募金の助成など、皆様の共感に支えていただいています。
この冊子は赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。

<http://www.takashima-shakyo.or.jp>

